



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ダイエー

コード番号 8263 URL <http://www.daiei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 正平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 白石 英明

TEL 03-6388-7335

四半期報告書提出予定日 平成25年10月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	409,289	△2.6	△4,128	—	△4,727	—	△14,483	—
25年2月期第2四半期	420,000	△4.1	△1,555	—	△2,059	—	△2,722	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 △14,474百万円 (—%) 25年2月期第2四半期 △3,599百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	△72.82	—
25年2月期第2四半期	△13.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	353,021	119,001	33.7
25年2月期	355,853	133,476	37.5

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 118,945百万円 25年2月期 133,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)に係る配当の状況につきましては、定款において剰余金の配当を行わない旨が定められているため、記載を省略しております。

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	818,000	△1.6	1,000	—	△3,000	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	122,597,537 株	25年2月期	122,597,537 株
26年2月期2Q	165,369 株	25年2月期	164,550 株
26年2月期2Q	122,432,565 株	25年2月期2Q	122,433,342 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在におきまして当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
決算補足説明資料	10
平成26年2月期 第2四半期(累計) 決算説明資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日～平成25年8月31日)におけるわが国の経済は、金融政策、財政政策等により景気回復傾向にある一方で、円安基調による輸入原材料の高騰からくる商品の値上げや電力需給調整による電気、ガス料金等の単価アップに加え、平成26年4月以降の消費税増税に対する懸念により消費マインドは足踏み状態にあり、先行きは極めて不透明であります。

当社グループは「お客様、地域社会の『ライフソリューションパートナー』」を企業のありたい姿とし、“新たな提供価値である利便性ソリューションを通じて、お客様、地域社会とともに発展していく企業”を目指すべき方向としております。

このたび、イオン株式会社(以下「イオン」)が平成25年7月から実施しておりました当社株券等に対する公開買付けが平成25年8月に終了し、当社はイオンの連結子会社として新たな成長に向かう一歩を踏み出しました。

イオングループが中期的な方向性として掲げている「大都市シフト」、「シニアシフト」等の方針に連動し、当社は、店舗立地の優位性等の強みを最大限に活かすべく、経営課題に対応した各施策の具現化のスピードを上げてまいります。また、イオングループとの間で経営資源やノウハウの共有化を図り、収益の拡大や経営の効率化を図ることでより高い相乗効果を発揮してまいります。

小売事業につきましては、「シェアの奪取」と「生産性の向上」の2つの経営課題に対して業態別、エリア別事業本部体制の下、施策の執行を進めてまいりました。

「シェアの奪取」につきましては、女性の社会進出、世帯構成人数の減少及び高齢化等に伴うお客様の消費行動の変化へ対応し、ご利用いただくお客様にご支持いただける店づくり及び売場づくりを実現するために、以下のような施策を実行してまいりました。

具体的には、食の「作らない化」に対応するための惣菜や冷凍食品を中心とした即食性の高い商品群や少量小規格商品の品揃えの拡充を進める一方で、お買い上げいただいた商品の当日配達サービスやネットスーパーの導入店舗拡大等、お客様の利便性向上に努めてまいりました。さらに、お客様が安心して快適にお買い物をしていただくために、新規店舗の出店や既存店舗の活性化実施に併せて、店内休憩スペースの設置、通路の段差解消及び店内表示物のフォント化による見やすいデザインやサイズへの変更等を行い、店舗環境の整備に努めてまいりました。

そのほか、当連結会計年度中に各店舗の店長を中心にサービス介助士2級資格(NPO法人「日本ケアフィットサービス協会」が認定する民間資格)取得を目指す等の、人材育成にも注力しております。

また、お客様の価格や品質に対するこだわりにもお応えするために、イオンのブランド「トップバリュ」については、生活の必需品を納得品質、低価格でお届けする「トップバリュベストプライス」や素材、産地、製法、機能にこだわった高品質を実現した「トップバリュ セレクト」、安心安全を提供する「トップバリュ グリーンアイ」等、幅広い品揃えを実現いたしました。そのほか、前連結会計年度に引き続き、食料品を中心とする約2,000品目に及ぶ価格の値下げや産地直送商品の品揃え拡大等も実施いたしました。

加えて、イオンによる当社の連結子会社化を機に、8月22日から25日までの4日間におきまして、初開催となる合同セール「イオン×ダイエー総力祭」をイオングループと当社グループ合計約1,000店舗にて実施いたしました。開発商品の新たな品揃えや通常は取り扱いのない電化製品等の商品の品揃え及びスケールメリットを活かした商品の価格値下げ等、当社及びイオングループのリソースを活用し、収益拡大に努めました。

そのほか、地域に根ざした店づくりを目的として新規店舗の出店や既存店舗の活性化を実施いたしました。6月には中食強化型モデル店舗として、惣菜や冷凍食品等の即食性の高い商品や地域に密着した商品の品揃えを充実させたグルメシティ水無瀬店(大阪府)を出店いたしました。また、ディスカウントストア業態の店舗を展開する当社子会社の株式会社ビッグ・エーにおいて8月に千葉小仲台店(千葉県)を出店する等、当社グループ全体では5店舗の出店をいたしました。

既存店舗の活性化につきましては、スーパーマーケット(以下「SM」)業態の店舗を展開する当社子会社の株式会社グルメシティ関東(以下「GC関東」)のグルメシティ東向島駅前店(東京都)において、惣菜や即食性の高い商品の売場面積を売場全体の約半分にまで拡大する等、当社、GC関東及びSM業態の店舗を展開する当社子会社の株式会社グルメシティ近畿(以下「GC近畿」)において13店舗の活性化を実施いたしました。

以上のような施策を実施したことで、当第2四半期連結会計期間における既存店売上高は、前年同四半期を上回る結果となりました。

「生産性の向上」につきましては、以下のような施策を実施してまいりました。効率的な店舗運営体制の確立を目的に、作業計画に基づく人員配置や店内作業軽減のため、作業の標準化及び納品体制の見直しにも取り組みました。食品加工業を営む当社子会社の株式会社アルティフーズに運営を委託している米飯工場を活用した商品供給の拡大等、当社グループ内の業務集約化を行い、効率的な体制を整備しております。加えて、省エネ対策については、当社における省エネ設備導入のほか、G C 関東及びG C 近畿において、L E D 電球の導入を進め、引き続き電気使用量の削減にも努めました。

不動産事業につきましては、商業施設を運営している当社子会社の株式会社O P Aにおいて、4月に梅田オーバ(大阪府)の新規店舗の出店や、既存店舗のテナント入れ替えによる活性化を実施する等、ブランド認知度の向上とシェア拡大を図っております。

当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、営業収益は、前連結会計年度に実施いたしました店舗閉鎖等の影響もあり、前年同期に比べ107億円減収の4,093億円(前年同期比2.6%減)となりました。

営業損益につきましては、既存店舗における店舗運営コスト等の削減を進めたものの、販売価格の引き下げを強化したことによる荒利益率の低下や、営業収益が前年同期を下回ったこと等により、前年同期に比べ26億円悪化の41億円の営業損失となりました。

経常損益につきましては、営業損益が悪化したこと等により、前年同期に比べ27億円悪化の47億円の経常損失となりました。

四半期純損益につきましては、固定資産減損損失及び閉鎖損失等引当金繰入額等の特別損失を計上したこと等により、前年同期に比べ118億円悪化の145億円の四半期純損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、固定資産減損損失の計上等による有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ28億円減少し3,530億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、暦日数の影響等による支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ116億円増加し2,340億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失を145億円計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ145億円減少し1,190億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における連結業績予想につきましては、平成25年4月12日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,661	40,298
受取手形及び売掛金	2,286	3,498
商品及び製品	40,249	38,107
未収入金	15,020	14,878
その他	13,072	13,368
貸倒引当金	△57	△57
流動資産合計	102,231	110,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	51,297	48,402
土地	91,416	88,802
その他（純額）	15,634	14,196
有形固定資産合計	158,347	151,400
無形固定資産	9,825	8,808
投資その他の資産		
差入保証金	83,142	80,597
その他	16,330	14,720
貸倒引当金	△14,022	△12,596
投資その他の資産合計	85,450	82,720
固定資産合計	253,622	242,928
資産合計	355,853	353,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,734	65,074
1年内返済予定の長期借入金	46,077	39,578
未払金	15,244	18,624
未払法人税等	1,204	799
賞与引当金	653	608
販売促進引当金	2,108	2,182
商品券引換引当金	1,424	1,315
その他	15,404	23,213
流動負債合計	137,848	151,391
固定負債		
長期借入金	4	4
長期預り保証金	18,509	18,212
再評価に係る繰延税金負債	6,261	5,980
退職給付引当金	30,139	29,556
閉鎖損失等引当金	8,963	9,025
資産除去債務	10,323	10,263
その他	10,330	9,589
固定負債合計	84,529	82,629
負債合計	222,377	234,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,517	56,517
資本剰余金	56,014	56,014
利益剰余金	10,020	△3,955
自己株式	△452	△452
株主資本合計	122,099	108,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	2
土地再評価差額金	11,327	10,818
その他の包括利益累計額合計	11,329	10,820
少数株主持分	48	57
純資産合計	133,476	119,001
負債純資産合計	355,853	353,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	390,590	381,107
売上原価	272,223	269,097
売上総利益	118,367	112,010
営業収入	29,410	28,183
営業総利益	147,777	140,192
販売費及び一般管理費	149,332	144,321
営業損失(△)	△1,555	△4,128
営業外収益		
受取利息	124	79
貸倒引当金戻入額	156	452
閉鎖損失等引当金戻入額	641	441
雑収入	914	579
営業外収益合計	1,835	1,551
営業外費用		
支払利息	1,360	1,250
退職給付会計基準変更時差異の処理額	358	358
雑損失	621	542
営業外費用合計	2,339	2,150
経常損失(△)	△2,059	△4,727
特別利益		
固定資産売却益	1,003	87
受取和解金	317	—
その他	84	—
特別利益合計	1,404	87
特別損失		
固定資産減損損失	866	7,569
閉鎖損失等引当金繰入額	452	2,072
その他	198	17
特別損失合計	1,516	9,657
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,171	△14,298
法人税、住民税及び事業税	460	506
法人税等調整額	86	△330
法人税等合計	546	176
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,717	△14,474
少数株主利益	5	9
四半期純損失(△)	△2,722	△14,483

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,717	△14,474
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△882	0
その他の包括利益合計	△882	0
四半期包括利益	△3,599	△14,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,604	△14,483
少数株主に係る四半期包括利益	5	9

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

1. 連結業績



(単位:億円)

	2012/8 (累計)実績	2013/8(累計)			
		期初公表	実績	前年 同期差	公表差
営業収益	4,200	4,110	4,093	-107	-17
営業利益	△16	△10	△41	-26	-31
経常利益	△21	△21	△47	-27	-27
当期純利益	△27		△145	-118	

当資料は億円未満を四捨五入しております。
%は小数点第2位を四捨五入しております。

2. 単独業績



(単位:億円)

	2012/8 (累計)実績	2013/8(累計)	
		実績	前年 同期差
営業収益	3,361	3,275	-86
売上高	3,180	3,095	-85
小売売上高	2,839	2,761	-78
(既存店前年比)	(96%)	(99%)	-
(小売荒利益率)	(28.8%)	(27.3%)	(-1.5)
供給売上高	341	334	-7
不動産収入他	182	180	-1
営業総利益	1,001	937	-64
販管費	1,018	976	-42
営業利益	△17	△39	-22
経常利益	△3	△63	-60
当期純利益	△2	△147	-144

2. 単独業績－既存店売上前年比の状況



	2012年度			2013年度		
	上期	下期	通期	上期		
				1Q	2Q	累計
小売計	96%	97%	96%	98%	101%	99%
客数	96%	98%	97%	99%	101%	100%
客単価	100%	99%	100%	99%	100%	99%

【月別既存店売上前年比】

	3月	4月	5月	1Q計	6月	7月	8月	2Q計
小売計	98%	96%	99%	98%	103%	99%	102%	101%
客数	99%	98%	99%	99%	102%	101%	101%	101%

2. 単独業績－小売荒利益率の状況



	2012/8	2013/8	前年 同期差
小売荒利益率計(単独)	28.8%	27.3%	-1.5
食品	27.3%	25.4%	-2.0
衣料品	36.3%	36.7%	+0.4
生活用品	28.0%	27.3%	-0.8

3. 連結:通期業績予想



(単位:億円)

	2014/2(下期)		2014/2(通期)		2013/2
	計画	前年同期差	計画 (期初公表)	前年同期差	実績
営業収益	4,087	-26	8,180	-133	8,313
営業利益	51	+63	10	+37	△27
経常利益	17	+33	△30	+7	△37